

平成28年度第2回おおい町総合教育会議 会議録

1 会議概要

- (1) 開催日時 平成29年2月13日(月)
午前10時00分～午前11時20分
- (2) 開催場所 おおい町役場 2階 第1会議室
- (3) 出席者 中塚町長
中川教育長、中元教育長職務代理者、高木教育委員
藤原正昭教育委員 藤原はるみ教育委員
- (4) 事務局
堀口学校教育課長、中本学校教育課長補佐、
奥生涯学習課長、新谷生涯学習課長補佐
- (5) 傍聴者 なし
- (6) 協議事項
 - ① おおい町教育大綱の策定について
 - ② その他

2 会議発言概要

1 開会

定刻となりましたので第2回おおい町総合教育会議を開会します。

2 あいさつ

中塚町長

大変な豪雪になりました。外出しにくい中ご参集くださいましてありがとうございます。今除雪の話が出ていましたが、2つのパターンがある。ひとつは、早く除雪してほしい。遅いのではないか。何十年ぶりの豪雪なので体制が整っていない部分もあることも分かって貰っていると思っている。

一方、黙々と子どもたちの通学路や防火水槽などを、地域の方が誰に言われることなく除雪をしておられる方もあります。

2つのパターンを見る時に、どちらがいいのか、なぜ力を合わせられないのか。その中、行政の限界も日々感じているところであります。

今日ご議論いただき、教育大綱においても、そういったところをどう勘案しながら、子供たちをどう育てるかにも通じますので、しっかりと議論していただきたい。

3 協議事項

事務局

続いて協議事項に入りたいと思います。おおい町総合教育会議運営要項第3条の第1項により、議長を町長につとめていただきますので、町長進行をよろしくお願いします。

町長

事前に皆様方に案として、資料は事前に配布しております。スケジュールはどうなっているのか。

事務局

3月に会議を考えており、年度内の策定を考えています。

中塚町長

「1. 策定の趣旨」、「2. 計画期間」はこのとおりですので、「3. 本町が目指す教育の姿」から進めていきたいと思います。よろしいでしょうか。

概要版は、基本施策を抜粋していますし、その他は、総合計画の教育に関するところが抜粋してありますし、関係のないところは、見え消し状態になっているのですね。

事務局

はい

町長

それでは、「本町が目指す教育の姿」として、案1から案3まで出しておりますが、あくまで案ですので、皆様方からご意見をお願いします。

教育委員

教育大綱ですので、「教育の姿」と書いてあるが、内容が、「向上する町」「生み出す希望」等は総合計画のような気がする。「教育の姿」であれば、人づくりとかこのような教育を目指す等がここに出てくるべきではないか。もしこの総合計画の3つの基本理念を出すのであれば、前段にいれないと、教育大綱にならないのではないかと思った。

中塚町長

私もその通りだと思う。総合計画の文言を持ってくると違和感を感じる。たとえばおおい町の子供たちに何を望むのか。価値観が家庭の価値観で、

視野が狭まっている。あるいは、いじめ・不登校、たくましさを見つけるためとか、転出・転入でふるさと愛を見つけるためにどうしたらよいのか、新指導要領でいわれております。アクティブラーニング、支えながら学ぶ、主体的に学ぶ、学ぶ楽しさを学ぶ、そのような目指す姿があると思うが、そう言った処を噛み砕いた中で、大綱として決めないと、いきなり総合計画から持ち込むと、何か分からなくなるのではないかと個人的には思っている。

他に意見はありませんか。

中川教育長

やはり学校教育に重きを置くところがあって、後の方の基本施策については、文化や生涯学習の広い部分を持っているので、物のとらえ方が漠然となる様に思う。学校教育に目が向いて、教育委員が言われる様に、その部分が弱いし言葉として出てきていない様に思う。

総合計画が出来、次に具体的な教育方策を作ります。教育方針は、この大綱に入っている重点的な部分を使っていくことになるのではないかと考えている。

教育委員

大きな枠組みと言う点では、その通りだと思う。こんな子供を作りたい、こんな教育を行いたい、社会教育を含めて、必要だと思う。それが町づくりとは、少し違うのではないかとと思う。

中塚町長

その通りだと思う。教育長が言われたように、教育全体をとらえるのは必要だと思う。生涯学習なので、一生教育なので大切であるが、青少年ぐらいいままでターゲットにどんな人になってほしいでよいと思う。後段で社会教育や地域教育力とか、文化・スポーツを含めていろいろ出てくるので、これから育っていく子供のイメージが親にとっても身につけなければならない部分である。学び直したり、改善したりする姿勢につながり、特化しても良いと思うし分かりやすい。目標がおぼろげになってしまうのが困るのではないか。皆さんどう思われますか。

教育委員

これを読ませていただいて、理解できない、よくわからない。実は2回読んだが、後ろの総合計画とかぶっている部分が一杯あって、先ほど教育委員さんがおっしゃったように、教育の姿を考えた時に、町のことが書いてあるから少し違うのではないか。教育長が言われたようにすごく分野が

広くて、文化財の伝承であったり、教育のことに関する事なので、学校教育のイメージがあるが、スポーツのことや8項目ぐらいあるので、すごく範囲が広い、保護者の側としては、現在学校に通っていて、今育っている段階なので、どんな子になってほしいとか、そちら側に重きを置きたいと思う。

教育委員

この前の10年の大綱があったのですね。これを理解しようと何回も読んだ。10年前の概要、目指す姿もこのような感じだったのか。

事務局

教育大綱は、今回が初めてである。総合計画は前の計画があります。

中塚町長

総合計画と教育方針とはどうなっているのか。

事務局

おおい町社会教育方針、「夢のあるオンリーワンの町づくり」を目指した新おおい町が平成18年3月3日に誕生し、10年が経過したこの間おおい町総合計画に掲げる「すこやかな心と生きる力がみなぎる人を育む町の実現に向け、家庭・学校、地域の連携による町全体の取り組みがなされてきたと言うくんだりで、教育方針として置いてある。

前の形で、総合計画を受けて、教育方針として全文が置いてある。参考として、敦賀市は、「白砂青松の地である敦賀を愛し、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成するため、家庭・学校・地域が一体となって、先人が築き上げた伝統を受け継ぎ、人道の港敦賀ならではの魅力ある教育を推進する。」として基本理念を据えてあり、基本方針は4項目で構成されている。

教育委員は、このおおい町の目指すべき姿をもう少し、総合計画でない文言ですべきであると言う意見であると理解した。

中塚町長

総合計画で出ているまちづくりの基本理念と将来像は、噛み砕いて教育に持っていかないと、そのまま使うと、何を言っているのかわからなくなる。あくまでも総合計画は、総合計画、教育大綱は、大綱とすればいいのではないか。

中川教育長

総合計画にこだわりすぎているところはあると思います。いくつもいくつも出てくると、どれが中心になって、どれに重きを置くのかがわからなくなる。

わかる人は、(総合)計画があって、(教育)大綱、(教育)方針、(教育)方策とわかっているが、一般には、いろんなどころに書いてあるとわかりにくい様に思う。

ただ言われる様に、町の方向があるので、社会教育も含めて、1、2行未来のことも入れる。人材を育てることになると、小学校、中学校、青少年でも育て、一般の人も生涯教育なので育て行くと言う形にすると見えてくる。(総合計画に)こだわりすぎたので、こう言う文言を入れてどういう人づくりをするかを、後段に入れると方向が見えてくる。あと施策につながる文面を入れるとよいと思う。

教育委員

鯖江市では、「ふるさとに自信と誇りをもてる教育を推進します」と書いてある。

小浜市は、「先人から受けついだ地域資源を大切にし、ふるさと小浜に誇りを持って未来を切り開く人づくりを進めます。」何か両市とも、大ざっぱに書いてあり、基本方針、施策でここと同じように書かれている。教育長さんが言われたように、何か町の方針を受けて、それを含んだものが書ければよいと思う。

中川教育長

連携して、課題を解決しますや将来を目指します等が書いてあるので、その課題を、将来を目指す、こう言う人に育ててほしいとかの形で、もう少し噛み砕いてわかりやすくする。

中塚町長

何かイメージのわくような、皆様方が将来の子供たちのイメージを持っておられるか。それを出してもらってそれをまとめる形で、文言を入れる。

中川教育長

ただ総合計画と関連がありますので、総合計画に出ている言葉を入れさせてほしい。町づくりを含めて、学校教育、生涯学習を含めて、人づくりを目指します。こう言う教育を若干入れさせていただくと後につながっていくと思う。そうすることによって総合計画を受けていることが余計はつきりする部分もある。

教育委員

今の課題が何かと言うことから出発する。おおい町では、開かれた子供を作ろう等、教育機器を使って子供たちの教育を行っていく。子供たちは、自分の範囲だけで行動してしまいます。外へ目を向けるようなことを課題として持ちこんでいければいいのではないか。

中塚町長

何か、今みたいに具体的なことがありましたら、よろしくお願いします。外に向けて活躍できる。何かこの部分を見つけてほしいと言うような思いを言っていたらとありがたい。

広い視野で、全体を見てほしい。世界全体を見られる人、日本を見られる人、あるいは福井県を見られる人、おおい町を見られる人、それぞれの能力に応じた広い視野を持ってほしい。自分が得意であるとかではなく、全体のバランス、視野を広く持ってほしいと思う。

中川教育長

次の教育施策についてですが、教育方針についてはこの中から平成29年度に主に取り組んで行くものを具体的に書く予定をしております。

例えば特色ある教育ですと、ICT機器の活用に取り組んでいきますなど、具体的に下に書いていきます。

中塚町長

毎年、どのくらいにスパンでローリングしていくのか。出来ていないものがあれば継続するし、出来たと思えが次の項目に替えるのか。

中川教育長

予算関係もありますし、継続していく内容もありますし、順位が低くなって外れることもあります。

現実的には、1年行って成果が表れるものではないので、継続していくことになります。

個人的には、これが出来ますので、これまで教育方針と方策がありましたが、より具体的な方針だけを替えていけば良いと考えている。

中塚町長

気になっている言葉があります。「秩序によって制御されない自由は、自由自体を破壊する。」今の現実社会がこうなっていて、トランプ大統領を登場させたのは、まさにアメリカの自由な個人を大事にする秩序をなくしているのだと思うし、日本がそうならないためには、田舎の、地方の balan

スのとれた支え合い等が大事であると思っている。そこが移住・定住につながる可能性がある。

根なし草になった都会の人にとって、濃密な人間関係とか慣習とかが逆に移住とかのインセンティブになっている。田舎で育ったのであれば、身に着けてほしい。

障害をお持ちのお子様方を一般のお子様と同じように迎え入れようとしている。これが世の中の流れになっている。そう言う個性に触れられる元気な普通のお子さんにとっての意味が大きい。田舎はそれが出来る。人の顔と心が見える教育が出来るのは、こんな小さなおおい町だから出来ることである。一番大事なのは、それをわかってあげようとする周りの人たちがいる。田舎であるからこそ、人格形成を含めて、人達のふれあいの中、素晴らしい人たちとして育っていく。その人達が社会貢献してくれると思う。

4番の基本施策から、(1)から(6)まであります。これについて何かありましたらお願いします。お気づきのところ等ご意見を頂きたいと思えます。

教育委員

学校教育の充実のところにあります「①総合教育会議による教育行政の充実」とありますが、年に3回の会議を学校教育の充実として、1番に持ってくるのは大変違和感がある。4番5番6番まで全部包括した話を学校教育だけに持ってくるのはおかしい。

事務局

これは当初には入っていなかった。

中川教育長

これも総合計画を受けてのものになってため、総合計画があつて、大綱があるので、違ふと複雑になるので、総合計画を受けた形で入っている。ただ今言われる様に、学校教育だけをいま議論する訳ではないので、ある意味理解できる。

中塚町長

トップダウンとボトムアップの部分で言えば、総合教育会議と教育現場との連携、言い回しによって変わってくるのではないかと。

ちなみに今年の仕事初めの時に、職員に訓示したのは、現場にこそ事実がある。現場と離れていないかと自省も込めて言った。

今教育委員が言われました様に、現場から上がってくる現状をいかに解

決するか、組織との連携が大事なので今少し工夫するなり、全体をみて、学校教育だけではなく、どうするのか一度検討する様に。

中川教育長

ここに今6項目あるが、過去の例年出しているものは、4項目になっている。スポーツと文化芸術の振興を別にしてしている。それが生涯学習の充実であるとか、地域教育の推進が含まれた形で4項目になっていたが、これも総合計画で6項目になった。大きくは4項目から6項目に変更になっている。関連することを別だてにしたので内容的は変わっていない。

中塚町長

今の件で、たとえば並べ方、文化・芸術が出てきている。次に青少年、地域が来てスポーツ振興が来ているそれを、スポーツの振興と文化芸術の振興を対比するには、同じようなところにする等にして。地域教育の推進について、もう少し説明してほしい。

中川教育長

今地域が、非常に課題でもある。コミュニティや地域関連のことについて、公民館も関わってきますし。

中塚町長

コミュニティやリーダー育成であるとか、協力体制への位置づけ部分をもう少しわかりやすく書いてほしい。さらっと地域が一丸となった地域教育とまとめてあるので、目的を含めてわかりづらい。

中川教育長

この部分について過去は、生涯学習に入っていた。スポーツの振興も同じです。

中塚町長

他に何かありませんか。

教育委員

少子化とか高齢化とかが一番の大きな課題である。教育行政だけではなく全体の仕事ですね。子供が少なくなると、学校の在り方も考えていかなければならない。

中塚町長

大野市では、学校統廃合の答申が出ている。切実な問題である。

中川教育長

市町の教育長会議でも大野市は注目されている。

中塚町長

いま教育委員が言われたことが出てくると、少子化・高齢化の弊害が子供達の教育、地域教育力にとって良くない事象であれば、解決する方向に動かなければならない。誰がどう担っていくのか。

中川教育長

学校環境の整備とか、そう言ったところで大きくしていければと思います。

ただ現実問題として、学校再編となると、中学校ですと教室が足りなくなる。再編で一緒になって、子どものために非常に良いことであっても、地域の気持ちと、施設的なキャパの問題もいろいろあって、来年から出来るものでもないし、この場で決めることでもない。

統合ではなく、おおい町の学校をどうするかと言う大きな観点での議論をいただき、それを受けて教育委員会やこの会議で進めていくのが順番になってくるのでないか。

中塚町長

(4) 青少年健全育成につて、いろんな団体がネットワークを組んで、今の子供たちの課題、いいところも悪いところも含めて、認識したうえで、各種団体が一番得意な部分で、それを補完したり、学んだりするお手伝いして、いわゆるネットワーク化が必要だと思うが、そう言った文言が無い。

一番上に学校教育に「生きる力」が出てきたが、「確かな学力」は分かるが、「生きる力」どの様に考えたらよいのか。

中川教育長

基本的には、社会人になった時に役に立つ、学校で勉強したことだけで終わるのではなく、社会に出た時に生かせる力。

中塚町長

アクティブラーニングは、どう出てきたのか。

中川教育長

先ほどの生きる力、自分で人と関わりながら力をつけて行く。教科書から自分が学ぶだけではなく。

中塚町長

タブレットを導入する時も思ったのは、面白いと思うから学ぶし、学び始めていろんな情報を入れたり、友達と議論することでさらに面白くなる。面白いと言うことをクローズアップしないと子供たちは、アクティブに学ばない。楽しむ力を何かの科目で身につければ、ほっといても楽しいことを見つける。ロールプレイングゲームみたいにどんどんステージが上がって行く。その楽しさをぜひとも身に付けられるような、おおい町の教育であってほしいと思う。

昔は、「教鞭」と言いましたが、鞭を使ってでも教えた。それからだんだん変わって「勉強」になった。それが「学問」になった。「学習」になった。主体性が生徒に移った。進化して主体性が「教える側」から「教えられる側」に変わってきた。その子たちが面白いと感じてきたら、ほっといても勉強するようになる。と言うイメージ。そのようなことがおおい町の教育に出てくると面白いと思っていた。タブレットも興味を持つ。静止画を見ているより動画の方が面白い。言葉で説明するより画像で見た方が面白い。その面白いと言うのを学んでほしい。

中川教育長

まだそこまで達していないが、45分間全部は出来ないが、出来るだけ組み込んでいって、授業を深めることだと思う。現場ではいろいろ試行錯誤しながら、平成29年度は、過去の2年間（平成27・28年度）の実績から進めようと思っている。

中塚町長

他に何かありませんか。「教育の姿」を含めて全般的に何かございませんか。それでは、今のようなご意見を踏まえて、案を作成し直していただいて、事前に皆様方に配布していただいて、今度は、それを読んでいただいて、何かありましたら個別に事務局に届けていただいて、3月にまとめられる方向で進めてほしい。よろしくお願いいたします。

その他、何かありますか。事務局からありますか。

事務局

特にありません。

教育委員

概要版について、概要版は他所に出すものなので、ぱっと見てわかりやすい方が良いのではないかと思います。ネットで見たのですが、このような（インターネットから出された資料を見せる）簡単にこんなことをやっているのがわかる様に。

中塚町長

それでは、そこも少し修正して、一つ一つの単体で機能しているわけでは無いので。他にありませんか。

事務方でまとめさせていただいて、送付させていただきます。

事務局

これで本日の協議はすべて終了しました、ありがとうございました。